

平成27年度 和泉小学校 体育・健康プラン

【中期学校経営方針「健やかな体」達成目標】

家庭と連携して、規則正しい生活習慣を身につけています。

体育学習や体力向上1校1実践運動を通して、友達とふれ合い、体を動かすことの楽しさを味わっています。

＜児童生徒の体育・健康面の姿＞

- ・新体力テストの結果から、全8種目中、4種目においてほぼ市の平均を上回っている。特に、反復横跳び、20mシャトルランの結果が良く、また、課題となっていた50m走も多くの学年で市平均を上回ることができた。このことから、瞬発力、持久力、走力に優れていると言える。また、ソフトボール投げも全学年で市平均を上回っている。しかし、握力、立ち幅跳びでは市平均を下回っているところが、課題である。
- ・休み時間や放課後に外遊びを楽しむ児童が多い傾向にあるが、よく体を動かす児童とそうでない児童との二極化も見られる。
- ・早寝早起き、朝食の摂取、ハンカチの携帯など規則正しい生活習慣、衛生面に対する意識は、「和泉っ子さわやか会議」(学校保健委員会)の取り組みなどもあり、少しずつ高まってきている。

＜体育・健康に関する指導の目標・方針＞

体を動かすことの喜びや楽しさを知り、生活の中に運動を取り入れようとする。

規則正しい生活習慣を身につけようとする。

目標に向かって根気強く取り組もうとする。

積極的に友達とふれ合い、互いに伸びていこうとする。

教科

《体育科・保健体育科での取組》 《他教科での取組》

- ・体育科では、各学年の運動の系統性を意識したカリキュラムを実践し、児童が運動の楽しさや喜びを実感し、運動の日常化につなげられるよう体育学習の充実を図る。
- ・運動会を、体育学習の発表の場とし、目標に向かって友だちと協力しながら活動できるようにする。また、目標達成や成功の喜びを味わうことができるようにする。

道徳・特活・総合

- ・「横浜の時間」では、地域との連携を図りながら食や環境の課題に取り組んでいけるようにする。
- ・学年の発達段階に応じた食教育の充実が図れるよう特別活動、保健学習、給食等において計画的に指導していけるようにする。
- ・児童が規則正しい生活習慣を身につけ、運動に親しんでいけるよう学校保健委員会の活動を充実させる。特に高学年では、児童が教師や校医、保護者と共に課題解決に向けて話し合う活動を設ける。

課外活動

特設陸上クラブやスーパー・タッチ・ボールクラブなどの活動を通して、心身ともに健康な体をつくることを目指す。

平成27年度 和泉小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》

逃走中・ドッジボール大会・長縄集会

《ねらい》

○目標に向かって友だちと協力して体を動かすことの楽しさを味わえるようにする。

○休み時間を活用して継続的に体を動かし、体力を向上させるようにする。

《内容》

逃走中: 全校児童参加型の鬼ごっこ ドッジボール大会: 低・中・高ブロックごとのトーナメント方式

長縄集会: クラスごとに8の字跳びで3分間の最高記録に挑戦する。

●指 標: 取り組み後の各学級での振り返り、「満足度」、「達成感」など